

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。  
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。  
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。  
あらかじめご了承ください。

# CASIO

1/100秒ストップウォッチ・アラーム

## 1325

### 取扱説明書

#### 1325

このたびは弊社製品をお買い上げくださり誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

時計のお取り扱いで、万一誤ったボタン操作を行っても、製品に障害を与えることはありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにもご納得のゆくまでお試しください。

# 安全上のご注意

## 絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

### ⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

### ⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

### ⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

### ⚠ 警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。  
※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となることがあります。



### 電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して下さい。

### ⚠ 注意

#### お手入れについて

本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にしてご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となります。万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

ステンレス製のバンドの場合、汚れからサビが発生し、衣服の袖を汚すことがあります。

#### 分解しないでください

本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となることがあります。

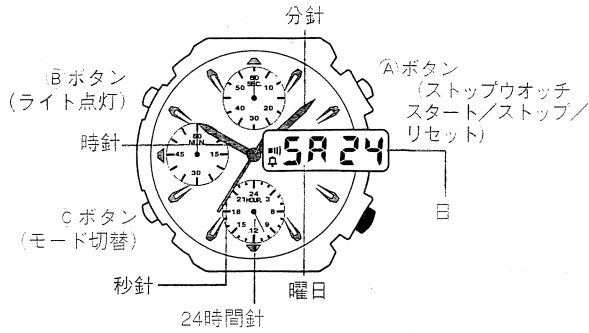


# 操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押してから1秒以内に離すと確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。※詳しくは各機能の項目をご覧ください。

## カレンダーモード

月、日、曜日のセットができます。



(曜日の見方)

SU	日
MO	月
TU	火
WE	水
TH	木
FR	金
SA	土

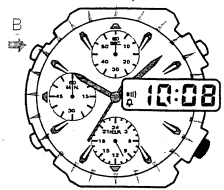
## 表示照明用 E L ライトについて

どのモードのときでも、◎ボタンを1回押すと文字板が約2秒間発光します。

※◎ボタンを押し続けても、2秒間で発光は消えます。

※ストップウォッチのリセット中(針が早送りしている)間は、◎ボタンを押しても発光しません。(詳しくは、「ストップウォッチの使い方」をご参照ください)

※ライト点灯中は、どのボタンを押しても機能しません。



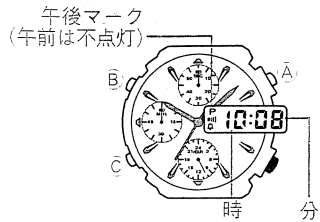
## <ELライトの発光に関するご注意>

- ・直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- ・発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中止します。
- ・発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

※◎ボタンを約1秒以上押したままだとモードは切り替わりません。

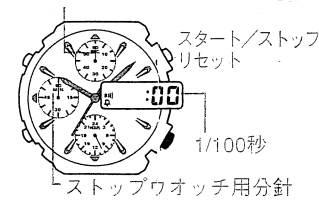
## 時刻モード

現在時刻の時と分がセットできます。



## ストップウォッチモード

1/100秒単位で、59分59秒99(60分)まで計測できます。ストップウォッチ用秒針



## アラームモード

分単位でアラームのセット、および毎正時の時報のセットができます。



## 秒の合わせ方

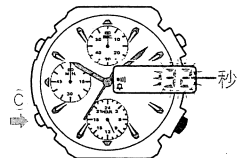
…30秒以内の遅れ・進みの修正

月に一度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと時刻はいつも正確です。

(1) 時刻モードのとき

◎ボタンを約1~2秒押します

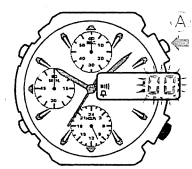
→「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて

◎ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。

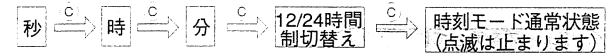
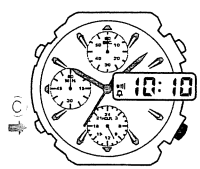


秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3) セット後、点滅を止めるには、12/24時間制切替え("12H"または"24H")が点滅している時に、

◎ボタンを押します



※いったん時刻モードの通常状態に戻ったあとに、またセットを直す場合は、◎ボタンを約1~2秒押して「秒」を点滅させます。

(3) 点滅箇所のセット

◎ボタンを押します

→◎ボタンを押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。また、押し続けると早送りします。



◎ボタンでセットしたい箇所を選び、◎ボタンで表示をセットする操作を繰り返して行ない、時刻を合わせてください。 ※「時」のセットのとき、午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。

(4) セット後、点滅を止めるには、12/24時間制切替え("12H"または"24H")が点滅している時に

◎ボタンを押します

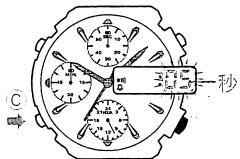
## 時刻の合わせ方

電池交換後などで時刻が合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

(1) 時刻モードのとき

◎ボタンを約1~2秒押します

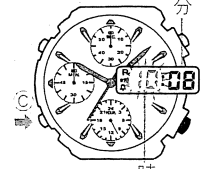
→「秒」が点滅します。



(2) セット箇所を選ぶ

◎ボタンを押します

◎ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下のように移動します。



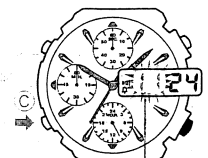
## カレンダーの合わせ方

電池交換後などでカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

(1) カレンダーモードのとき、

◎ボタンを約1~2秒押します

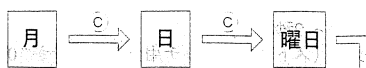
→「月」が点滅します。



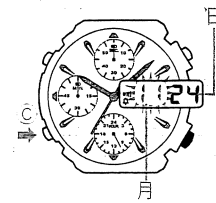
(2) セット箇所を選ぶ

◎ボタンを押します

◎ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下のように移動します。



カレンダーモード通常状態 (点滅は止まります)

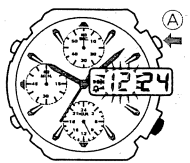


※いったんカレンダーモードの通常状態に戻ったあとに、またセットを仕直す場合は、Cボタンを約1~2秒押しして「月」を点滅させます。

(3) 点滅箇所へのセット

Aボタンを押します

→ Aボタンを押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。また、押し続けると早送りします。



Cボタンでセットしたい箇所を選び、Aボタンで表示をセットする操作を繰り返し行ない、カレンダーを合わせてください。

(4) セット後、点滅を止めるには、「曜日」が点滅している時に、

Cボタンを押します

●秒・時刻・カレンダーセット状態で表示を点滅させたままにしておく、1~2分後自動的に点滅が止まり、時刻モードの通常状態に戻ります。

ご注意

●計測をリセットすると、ストップウォッチ用の分針・秒針が早く回りだします。分針がひとまわりして"0"に戻ると、分針・秒針とも止まります。※分針・秒針が早く回っている間はA/Bボタンの操作はできませんのでご注意ください。

●リセット後、針が"0"位置以外で止まったときは、リユーズを引いてからAボタンを押して、"0"の位置に揃えます。なお、時刻・カレンダー・アラームモードの修正状態（デジタル表示が点滅しているとき）にAボタンを押すと、セットした数字が変わってしまうので、点滅のない通常状態にて針を修正してください。

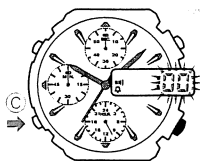


針セットのしかた

(1) 時刻モードにおいて、

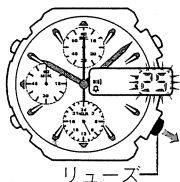
Cボタンを約1~2秒押します

→「秒」が点滅します。



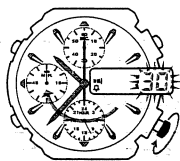
(2) 秒針が12時の位置に来たら、

リユーズを引いて針を止めます



(3) リユーズを回して時・分を合わせます

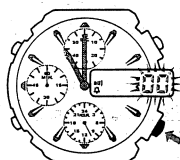
※右回り、左回りのどちらに回しても大丈夫ですから、どちらか早いほうを選んで合わせると早くセットできます。



(4) デジタル時刻表示の「秒」が":00"になると同時に、

リユーズを押します

→針は再び動き始めます。



※針のセットが終わったら、Cボタンを4回押しすと、デジタル時刻表示が現在時刻に戻ります。

ストップウォッチの使い方

本機は、1/100秒単位で59分59秒99 (60分計) まで計測でき、以後0に戻って計測し続けます。

※ストップウォッチモード以外のモードにおいても計測ができます。ただし、時刻やカレンダー、アラーム時刻のセット中(表示が点滅しているときは)、ストップウォッチ計測はできません。

計測のしかた

Aボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。計測開始と同時に時計の文字板にある分針・秒針が動き始めます。それぞれ計測時間の分、秒を表します。

※ストップウォッチモードでの計測中は、1/100秒も表示されます。その他のモードでは、そのモードの表示のままです。

計測の流れ

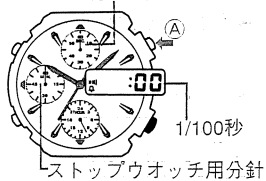
A → A → A (1~2秒押し)

スタート → ストップ → リセット (ストップウォッチ用分針、秒針が"0"の位置に早送りします)

※積算計測...ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(Aボタン)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

<ストップウォッチモード>

ストップウォッチ用秒針



ストップウォッチ用分針

例) 計測時間10分15秒

アラームの使い方... (準備) Cボタンを押してアラームモードに入ります

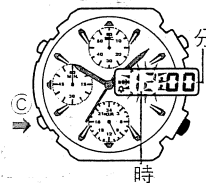
アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

アラーム・時報のセット

(1) アラームモードのときに、

Cボタンを約1~2秒押します

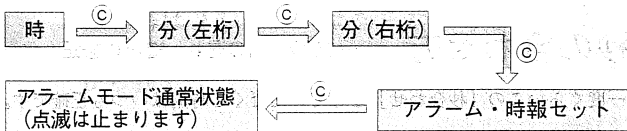
→アラーム時刻の「時」が点滅します。



(2) セット箇所を選ぶ

Cボタンを押します

Cボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下のように移動します。

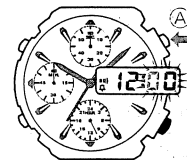


※いったんアラームモードの通常状態に戻ったあとに、またセットを仕直す場合は、Cボタンを約1~2秒押しして「時」を点滅させます。

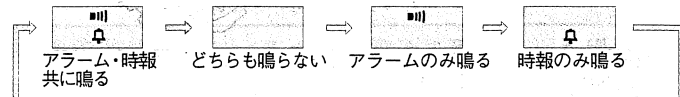
(3) 点滅箇所のセット

Aボタンを押します

→Aボタンを押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。押し続けると早送りします。



アラーム・時報セットのときは、Aボタンを押すごとにアラームONマーク(■), 時報ONマーク(●), が以下の順で点灯・不点灯を繰り返します。



●「時」セットのとき、午前/午後(P)にご注意ください。

●時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示

(4) セット後、点滅を止めるには、アラーム・時報セット状態で、

Cボタンを押します

※セット表示(点滅)のまま1~2分すると自動的に点滅が止まり、時計は時刻モードに切り替わります。

鳴っている電子音を止めるには

鳴っている電子音を止めるには、A/B/Cいずれかのボタンを押します。※通常Bボタンを押すと文字板が発光しますが、アラーム音を止めたときには発光はしません。

アラーム音を選ぶには

どのモードにおいても、リユーズを引き出してからCボタンを押すと、アラーム音の試し聞きができます。このとき、Cボタンを押すたびにアラーム音の音色が変わります。※各モードのセット状態(点滅中)では、試し聞きはできません。※リユーズを引き出すと同時に秒針は止まります。試し聞きが済みましたら、リユーズを元の位置に押ししてください。秒針が動き始めます。

